



日本機械学会 動力エネルギーシステム部門

カーボンニュートラルに向けたエネルギー貯蔵技術研究会報告会

(蓄エネ研セミナー)

2024年3月14日(木) 15:00~17:20 (受付開始 14:30)

早稲田大学西早稲田キャンパス 61号館 210室

ねらい

カーボンニュートラル実現においてはエネルギー貯蔵(蓄エネ)技術が必須である。産業プロセスなど、熱プロセスから発生する未利用熱は賦存量が大きく熱エネルギー貯蔵技術が必要である。再エネの出力変動による出力制御(出力抑制)が顕在化しており、再生可能エネルギー対応した大規模・低コストの蓄エネ技術も重要であり電力貯蔵とともに熱エネルギー、化学エネルギー貯蔵に可能性がある。併せて貯蔵エネルギーを用いた発電、熱利用システム技術を準備する必要がある。

そこで、日本機械学会動力エネルギーシステム部門は「カーボンニュートラルに向けたエネルギー貯蔵技術研究会」(2021年10月~2024年3月)を設置し、カーボンニュートラル社会におけるエネルギーシステムのパラダイム変革を実現するために必要とされる蓄エネ分野の技術開発の将来展開を検討してきた。2年半にわたる本研究会活動として、カーボンニュートラルを達成するためのエネルギーストレージベストミックス、グリーンエネルギー社会への転換、熱エネルギーの有効活用、2050年以降にあるべき姿について提言をまとめた。また、エネルギー貯蔵技術の調査、エネルギー貯蔵技術の利用に関する調査、エネルギーストレージベストミックスの検討について報告書としてまとめた。本研究会の活動成果を報告するため、カーボンニュートラルに向けたエネルギー貯蔵技術研究会報告会(蓄エネ研セミナー)を開催する。

プログラム

コーディネータ:エネルギー貯蔵技術研究会幹事 山野 秀将 (JAEA)

1. 開会の挨拶

15:00~ 動力エネルギーシステム部門 部門長 氣賀 尚志 (株式会社 IHI)

2. 講演

15:05~ 「カーボンニュートラル達成に向けたエネルギーストレージベストミックスのための提言」 エネルギー貯蔵技術研究会 主査 加藤 之貴 (東京工業大学)



- 15:30～ 「カーボンニュートラル実現に向けたエネルギー貯蔵への期待」 小宮山 涼
一（東京大学）
- 15:55～ 「エネルギーストレージミックスの経済合理性」 松尾 雄司（立命館アジア
太平洋大学）
- 16:20～ 「エネルギー貯蔵システムの役割」 中垣 隆雄（早稲田大学）
- 16:45～ 「エネルギー貯蔵システムを組み合わせた設計」 藤井 祥万（東京大学）

3. 総合討論

- 17:10～ 「エネルギーストレージベストミックスへの期待」

4. 閉会の挨拶

- 17:20～ 動力エネルギーシステム部門 副部門長 大川 富雄（電気通信大学）

5. 情報交換会 17:30～19:00（63号館1階 ロームスクエア・ラウンジ）

※演題と講演者は変更の可能性があります。

言語：日本語

定員：100名

セミナー参加費：無料

情報交換会参加費：税込2,000円（学生は無料）

（事前申込みの上で、当日現金でお支払（領収書発行）をお願い致します）

申込期限：2024年2月29日

申込は①Googleフォームか②メールでお願いします。

申込方法①：以下のGoogleフォームで申し込みください

<https://forms.office.com/r/vSGSUVBHQh>

申込方法②：takano.kazuya@jaea.go.jp に下記を連絡願います。

- 1)氏名（ふりがな）
- 2)所属
- 3)会員区分（正、非、学生）
- 4)連絡先（E-mail/電話）
- 5)情報交換会の出欠

担当：JAEA 高野和也

共催：早稲田大学・共同原子力専攻



最寄り駅からのアクセス（西早稲田キャンパス）

- JR 山手線 高田馬場駅から徒歩 15 分
- 西武新宿線 高田馬場駅から徒歩 15 分
- 副都心線 西早稲田駅に直結
- 東西線 早稲田駅から徒歩 22 分

早稲田大学西早稲田キャンパス 61 号館 210 室

(<https://www.waseda.jp/top/access/nishiwaseda-campus>)

